

● 実施報告

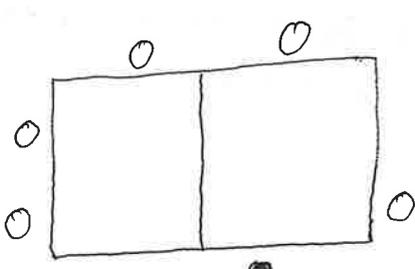
探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・立姿等とは大きく変わり、鏡の反射を利用し保育者を見ることができた。 ・初めは、反射した光を特定的位置に集めることに苦労していたが、時間の経過の中で、光を当てた位置に集めて楽しむことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「光が必要だよ」 ↳ 暗い時、地震の時、夜、洞窟 ・「光を当てるとどうなる」 ↳ あっ、眩しい、影が映る ・光の反射を利用して保育者を見ることができた。 ↳ あっ、眩しい、影が映る

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・立姿のことで頭が痛い、正しい姿勢を身につけてもらう必要がある、子どもたちの声を拾ってあげることが大切だ。 ・もともと子どもたちの発言を促すようにしていくことが大切だ。 ・反射の原理は理解できていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが不思議に感じたり、どうしてこうなるのだろうと知りたくなることは大切だと思うので、これから子どもたちの発見や探究の心をサポートしてあげられる関わりをしていってほしい。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ひまわり 組	9 月 10 日 (水)	小林愛美

● 実施計画

活動テーマ		
T=ハモの〜 野菜〜		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
水耕栽培で毎日水をあげる姿があり、野菜について興味や月齢に応じていろいろ。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
10:45	前日回収した宿題 「自分が育てた野菜はどのようになっているのか調べてくる」の課題を話す。	 <p>「野菜と果物」</p>
11:00	クイズ形式で各野菜の食べるときの注意点を（葉、花、茎など）を学ぶ。	
11:15	食べられる種と取りのどく種を見つける（カボチャ、ピーマンは取りのどく） （トマト、イチゴは食べられる）	
	宿題 「食べられる種と取りのどく種を調べ調べてくる」	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>親子菜はどこの育っているんか？と子ども達と 一緒に中目黒公園やおじいちゃんおばあ ちゃん宅を巡りながら探さずには ない。その延長でどこの部分(種、花、茎など)を 食べているかをクイズ形式にして遊ぶ。 1. どの部分を食べるの？ 米は種の部分を 食べているの？</p>	<p>〈子どもの声〉 クイズ形式は面白いよ！(声) どの部分か？と尋ねると「米は種の部分を 食べているよ！」と答える。また「プロポリスは花の 部分を食べるの？」と尋ねると「プロポリス の葉は食べてもいいよ！」と答える。 〈保育者の関わり〉 子どもの発言を聞き、その場で「プロポリス 園」から使った言葉を使うように促す。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>クイズ形式は子ども達に楽しんでほしい。 子どもの声も楽しませながら進めたい。 子どもの声もその場で聞き、その場で「プロポリス 園」から使った言葉を使うように促す。 一緒に楽しむ。</p>	<p>楽しんで活動に取り組む子ども達に たい。宿題を出すと工夫して よいと思う。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ひまわり 組	11 月 5 日 (水)	小林愛美

● 実施計画

活動テーマ

アート ~ 色の3いびき

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

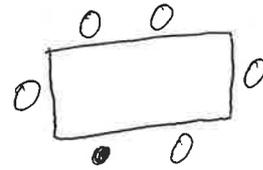
絵の具で色塗り活動が楽しい海がある

活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	

16:00

・ 用意された絵の具の園カンを1人1杯に見分けて、次回のテーマである「アート」に活用していく。

・ 1人1杯の絵の具もあるため、次回から2杯の絵の具で色塗り活動を行う。



<準備物>

- ・ アートの園カン
- ・ 個人絵の具

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>用意された教材の園カラムや個人用の絵の具を全員が確認したことから、次回の子で遊ぶアートにのびる触れたい。</p>	<p><子どもの姿、声> 園カラムに筆がのびる「モリサ」を見つめ、 「知ってるよ」と興味を持って「はい」 「ハッパの叫び」を見せ、真似して、指先で触る姿 を見せ <関わり> 個人用絵の具を大切に使うように伝え、 園カラムと一緒に楽しむ姿を見せ</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>絵の具の活動が好きな子どもは埋まらずに 「はい、興味を持って」園カラムを通い 触れたいからアートに触れたいと のびる触れたい</p>	<p>次の活動が楽しんでいるようには働きかけを しているのび、あくわくが深まりよりよい 流れだと思つ。</p>